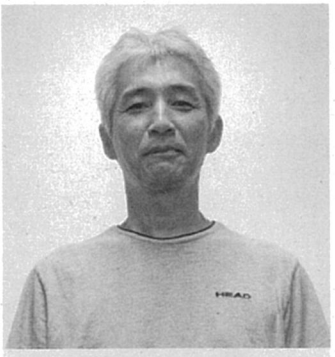
おもいやり標語

編集
高砂市青少年補導委員協議会広報部会
問合先
青少年センター　☎079-443-9066
青少年相談電話　☎079-443-6246

おもいやり標語によせて



高砂市青少年
補導委員協議会広報部長
野々村　雅之

この度は、「おもいやり標語」の募集に際し、多数のご応募をいただき、誠にありがとうございました。今年寄せられた作品の中で特に印象に残ったのは、SNSを含む誹謗中傷による「言葉の暴力」への問題意識や、世界各地で続く争いに目を向け、平和を願うこどもたちのまっすぐな思いが込められた作品でした。身近な出来事だけでなく、世界で起きている問題や課題を自分事として受け止め、そこにある痛みに心を寄せるこどもたち。その豊かな感性と優しさに、深い感銘を受けました。

AIが目覚ましい進歩を遂げる時代となりました。AIは膨大な知識を学び、情報を分析し、論理的な答えを導き出すことができます。しかし、AIには痛みを感じる体がありません。傷つくことも、誰かを守りたいと願うことも、痛みを自らのものとして感じることもありません。ふと、手塚治虫の『火の鳥』「未来編」を思い出しました。人類が世界の管理を巨大なコンピューターに委ねた未来で、コンピューター同士の対立が人類滅亡の危機を招く物語です。科学や技術がどれほど進歩しても、それだけで人間が幸せになれるとは限りません。「嫌だ」「悲しい」「苦しい」という心の叫びを受け止め、その痛みに寄り添い、「こうあってほしい」「誰かの幸せを願う」という思いを生み出す力。それこそが、人間にしか持ち得ない大切な力ではないでしょうか。こどもたちが紡いでくれた一つ一つの標語には、人間らしい温かさと未来への希望が込められています。私たち大人もその思いを受け止め、「おもいやりの心」を大切に育み、一人一人が安心して暮らせる地域づくりにつなげていきたいと思います。

（文責　広報部副部長　松田　良郎）

おもいやり標語　令和8年度　最優秀賞・金賞受賞作品（敬称略）

最優秀賞

思いやろう　ぽかぽか言葉を　大切に
北浜小学校　藤井　咲希

金賞

ありがとう　心をこめて　言ってみよう
高砂小学校　庄司　尚真

思いやる　心がつなぐ　笑顔の輪
荒井小学校　佐藤　朱

思いやり　みんなでつくる　心の輪
伊保小学校　川端　翼

「ありがとう」その一言で　変わる気持ち
伊保南小学校　榮井　優

いつまでも　ひごろのかんしゃ　わすれずに
中筋小学校　北　そら

よりそって　きいてあげるよ　心の声
曽根小学校　西田　エマ

ありがとう　その一言も　ありがとう
米田小学校　大橋　杏莉

声をかける　その優しさが　思いやり
米田西小学校　西井　汰樹

思いやり　笑顔あふれる　毎日を
阿弥陀小学校　福岡　美希

11月は「子供・若者育成支援推進強調月間」

内閣府・こども家庭庁では、毎年11月を「秋のこどもまんなか月間」とし、その取り組みの一つとして「子供・若者育成支援推進強調月間」を定め、こどもの健全育成のため地方公共団体や関係各所による取り組みが行われています。

高砂市青少年補導委員協議会でも、有害環境実態調査や「おもいやり標語」による啓発活動などを行っています。また、青少年センターでは青少年に関する相談を受け付けています。

警察庁の統計では、少年犯罪検挙数が令和4年の約1万4千人から令和7年の約2万4千人へと年々増加し、4年間で1万人も増えています。皆さんの周りのこどもや若者の健全な成長を守るため、地域の皆さんも積極的に青少年と関わり、見守っていきましょう。